

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	総務課	庶務係	内線等	99-203
事業コード		事務事業名	消防施設充実事業		
根拠法令等	消防組織法(8条 市町村の費用負担)		○ B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防活動に必要な設備を
手段	充実させることによって
想定する成果	災害時の損害を最小限に抑える

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
消防車両等及び資機材の整備	1 消防関係車両 4台 内訳 連絡車 604,000 救急車 27,300,000 消防ポンプ自動車 14,595,000 小型動力ポンプ積載車 2,394,000 2 資機材 2点 内訳 車載無線機1基 630,000 小型動力ポンプ3台 4,095,000	1 消防関係車両 1台 指揮車 2,499,000 2 資機材 1点 携帯無線機5基 1,239,000	1 消防関係車両 1台 水槽付消防ポンプ自動車 31,000,000 2 資機材 1点 携帯無線機1基 367,500 車載無線機1基 630,000

目標値

成果指標名	車両充足率
成果指標の説明	現有台数/消防力の基準に基づく必要台数×100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	98.1%
	実績	98.1%	98.1%	-
事業費	事業費	49,618,640	3,738,000	31,997,500
	人件費	1,800,120	1,671,600	1,699,400
	(人数)	0.21	0.2	0.2
	合計	51,418,760	5,409,600	33,696,900
財源内訳	国	7,472,000		
	県	11,550,000		3,554,000
	市債	24,000,000		24,700,000
	その他			
	一般財源	8,396,760	5,409,600	5,442,900

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	消防施設整備計画に基づいて計画的に更新しているが、特殊な車両であり経費が増大するため、更新時期を延長して対応している。
効率性	10	6	指揮車は本来現場指揮に必要な車両であるが、災害活動等にも利用している。
公共性	10	10	消防組織法に「市町村の消防に要する費用は市町村が負担しなければならない」と明記されている
緊急度	10	10	指揮車は数年前から更新を計画していたが、他の消防車両を優先し、購入後経過年数が19年となり劣化が進み、故障も多くなっていた。
小計	36	32	
市民参加度	-	-	-
合計	36	32	
総合評価	A	B	消防車両の仕様は市町村により異なるため車両の適正価格の把握が困難である、そのため車両に関し専門的な知識を持った人材が必要である。

これまでに実施した改善点

達成度	消防車両の更新時期を延長して対応している。 携帯無線の台数の削減。
効率性	現有人員を有効に活用するため、出勤体制を見直し災害に応じた車両に乗換え出勤している。 財源の確保については国、県の補助金を利用している
公共性	
緊急度	保有車両が多いので整備計画に基づき整備している。
市民参加度	-

今後の改善すべき点

達成度	NOX・PM法の規制に対応すること、及び環境に配慮した整備が必要である。
効率性	消防車両に必要な人員の確保に努める。 管理車両が多いこと及び、車両の大型化により管理上の経費負担の増加が見込まれるので、通常の維持管理を適切に行い経費の削減に努める必要がある。
公共性	
緊急度	地震防災強化地域に指定されていることもあり計画的な整備が必要である。
市民参加度	-